

中小企業診断士とは

中小企業の活性化、体質強化を目的に制定。

我が国唯一の経営コンサルタントの国家資格で約 60 年前に創設された。

旧通産省、現経済産業省・中小企業庁が所管している。

工業、商業、情報分野。受験科目は 7 科目<第 1 次試験>

経済学・経済政策、財務・会計、企業経営論、運営管理、経営法務、経営情報システム、中小企業経営・政策の 7 科目。

試験は上記全 7 科目の 1 次試験、更にその応用問題の 2 次試験(筆記、面接)、第 3 次試験は 2 週間の実際の中小企業診断実習がある。

最近の通算<1 次~3 次>の**合格率は 4%前後**。

通常合格には 1,000 時間の勉強時間が必要と言われている。何度も挑戦する人もいる。

合格後は毎年中小企業施策の更新研修約 5 時間と中小企業指導実績が必要。年々受験者が増え難関の資格になりつつある。**ビジネス関連資格で最難関資格**。

累計有資格者は 1 万人を超えているが、コンサルタントとして**独立している人はその約 2~3 割**と言われている、残りの 7~8 割は企業内診断士・ビジネスマンが多い。

資格認定、更新審査が厳密であり維持管理の難易度は高い。

当グループ 経営診断担当 西川俊文 中小企業診断士の紹介

22 歳 診断士最年少合格 以来 30 年以上、コンサルティング活動に従事
M&A 業者は数多いが、実践に基いた経営の核心を診断できるコンサルは少ない

得意分野 <主な指導アイテム> **200 社以上 診断、指導、セミナー**

中期経営計画、人事評価制度策定、管理者教育、新入社員教育
提案型営業マン訓練、知的生産性向上訓練、ISO 取得指導、債務超過の
診断、人事管理の改善指導、プレイングマネージャーのレベルアップ指導